

HP: <http://rakuno.org/>

風声雪語 —野幌だより—

酪農学園同窓会ニュースレター

高校・短大・大学 同窓生関連の最近の話題

大学・短大白樺祭実行委員同窓会報告

トピック

HPの更新状況から

○高等学校関連

11.15 農業科10期同期会

11.20 高校合同同窓会

12.03 第2期生同窓会

○短期大学関連

08.07 IIコース1期生同期会

○大学関連

11.17 第52回酪農公開講座

11.18 大学公開講座(東京)

○地区支部同窓会関連

11.17 長野県支部同窓会

11.19 道南地区会

11.20 関東高校合同同窓会

11.27 島根支部設立準備会

11.27 鳥取県支部総会

2016年11月5日(土)午後6時からポールスター札幌4階ラベンを会場に、酪農学園大学・短期大学学園祭「白樺祭」実行委員同窓会を開催いたしました。

全国各地から同窓生25名、在学生20名、ほか学園職員2名と大変多くの方々、11月始めにしては極めて珍しい大雪という悪天候の中、集まって頂きました。

酪農学園大学の学園祭は、数度の中断を経ながら、1997年6月27日(金)に中断前の学園祭の名称を引き継ぎ、新生「白樺祭」として復活しました。第1回から数回は、金曜日の前夜祭、土、日の本祭2日間の計3日間の開催でした。その後、幾多の存亡の危機を迎えながらも、開催2日間というスタイルで何とか継続し、本年(2016年)には第20回目を迎え、無事に終える



事ができました。

今回の同窓会はその復活後20回目の白樺祭開催を記念し、山條力矢さん(第16回白樺祭実行委員長)を幹事代表として企画されたものです。当日は学園から第1回目の顧問だった林多喜夫さん(現・大学入試部事務次長)、学生部学生課の大学祭担当の立川直生さんにもご出席頂きました。(4頁につづく)

酪農学園同窓会の現況(卒業生数)

目次:

最近の話題

1

同窓会現況

1

地区支部同窓会

2

同期会OB会

3

報告等

4

編集後記

4

2015年度 累計卒業生数

大学院 計 1,559名

大 学 計 28,685名

短 大 計 9,487名

高 校 計 19,509名

合 計 計 59,240名

酪農義塾 計 303名

酪農学校 計

92,000名

総合計

151,543名

地区支部の設置状況()は未設置

北海道1区:石狩 3支部(1)(江別)

北海道2区:道央 6支部(2)(空知1)(胆振2)

北海道3区:道南 5支部(2)(後志1)(後志2)

北海道4区:道北 6支部(1)(留萌1)

北海道5区:道東 6支部(0) 26支部(6)

東北地区: 6支部(0)

関東甲信越地区: 10支部(0)

中部地区: 7支部(0)

近畿地区: 6支部(0)

中国地区: 5支部(1)(島根)

四国地区: 4支部(0)

地区支部同窓会 紹介コーナー

近畿地区総会報告

10月1日午前10時から京都聖護院御殿荘を会場に近畿地区総会・懇親会が開催された。出席者は地区会員13名、本学から加藤清雄同窓副会長、谷山弘行理事長、近雅宣常務理事にご出席いただきました。

総会は山本浩光地区会長の挨拶に続き、近畿地区、悲願の関西事務所の設立について、現状等を、向井京都支部長より説明が有りました。その後、現状における意見、取り組みを進めるにあたっての意見、今後の進め方等についての意見を参加者より聞いた。具体的な意見が数々提案された。

今後の進め方として、これらの意見を十分考慮しつつ、近畿地区の中に、関西事務所の設置にむけての委員会を立ち上げた。委員として、山本近畿地区長・向井京都支部長・澤竹和歌山支部長・河野緑風会近畿支部長の4名を選出した。このメンバーにて同窓会、学校と設置に向けての協議をしていく以上の事を決めました。

1時からの懇親会の部は、加藤同窓副会長、谷山理事長、近常務理事のご挨拶をいただき、和やかに、有意義な懇親会となりました。（文責 山本浩光）

中部地区富山県支部総会報告



富山県支部は、平成28年10月16日(日)午後2時から総会(約30分間)、集合写真撮影、懇親会(午後5時頃)を持ちました。

この会には、先立って持たれた中部地区各県支部長会議に参加された小山久一同窓会会長、谷山弘行学園理事長、近雅宣学園常務理事のお三方が来賓として参加してくださいました。

富山県支部の会員は事務局からの名簿では約140名(重複を除く)が登録されていましたが、事務局名簿に従い富山県支部総会の開催案内を発送したところ2通のみが宛先不明でした。総会等案内の返信数は74通(回収率約53%)、内出席者数29名(21%)、欠席者数45名(32%)でした。欠席と案内された会員の中には県外に在住のため出席を見合わせたい(横浜市在住の方は名前が空欄)という方が6名ありました。

総会の議題は会則の改正が主でしたが、賛成多数で承認され、役員も再任となって総会も閉じられ、写真撮影室にて富山県支部2016年度総会の記念集合写真を撮り、待望の懇親会となりました。

懇親会は、谷山学園理事長の挨拶、近雅宣常務理事の乾杯に始まり、宴の中で小山久一同窓会会長が黒澤西蔵翁の踏跡についてプロジェクターを活用して独自に調査された内容を丁寧にご報告されました。～中略～

本会の会員層は、機農高校、三愛高校、短期大学、四年制大学、六年制大学、大学院等を2015年度までに卒業、修了された方々という多年代層(60年超)によって構成されていますが、野幌の大自然の中で培われた三愛精神と実学教育という心の豊かさは、脈々と今も継続されていると感じた有益な時でした。（文責：富山県支部長 永井 勝）

道南地区同窓会報告



11月5日(土)に開催された酪農学園大学主催の「第51回酪農公開講座」の前日の4日午後6時から、「八雲遊楽亭」を会場にして、酪農学園同窓会道南地区同窓会が開催された。

同総会には八雲町周辺の同窓生、および大学関係者等28名が出席した。本学からは竹花一成学長や講師の小岩政照教授、エクステンションセンター関係者、同総会等から6名が出席した。

会は荻本正八雲町役場課長補佐(短大ⅡコースOB)の司会進行で進められ、開会挨拶を道南地区会長都築信夫氏が歓迎の挨拶と同窓の絆の重要性を述べた。

続いて来賓挨拶として竹花一成学長から公開講座開催に伴う関係者へのお礼と大学の現況等について、ご紹介いただいた。

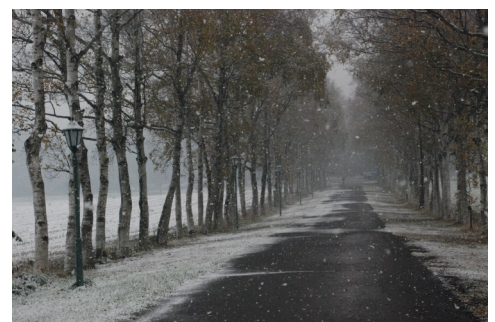
次に今回の開催地の中心である八雲町、森町、長万部町で構成される渡島第二支部の吉田英明支部長の乾杯により懇親会となった。

その後、出席者が一人ずつ壇上にあがり、自己紹介と近況報告を行なった。小岩教授(講師)は北海道酪農発祥の地とも言える八雲町での公開講座の講師としての抱負を述べた。機農高校OB加藤喜一氏からは「酪農学園八雲会」という酪農学園同窓会が以前に活動していた貴重なお話しをご紹介いただいた。

最後は加藤氏の万歳三唱により会を閉じたが、時間切れで集合写真撮影の後、酪農讃歌合唱が出来なかったことが心残りでした。

今回の同窓会は八雲町周辺にお住いの高校(機農・三愛女子)、短大、大学各学科の同窓生22名に出席いただき、今年就職したOB(H27卒)から機農高校農業科11期OB(S29卒)まで幅広い年齢層の同窓生にご参加いただきました。

なお、5日(土)に開催された第51回酪農公開講座は90名を超える出席者があり、盛会裏に終了したとのことでした。



同期会OB会紹介コーナー

農業経済学科1972年度入学同期会報告



9月17日(土)同日午後6時から新札幌アークシティホテルを会場にして23名の恩師、同窓生が出席しました。昼間のホームカミングデーにも5名が出席していました。

同期会では最初に永眠された恩師や同窓生を悼み、黙祷で始められました。恩師(大谷先生、中原先生、三島先生、菅沼先生)から近況を含めてのご挨拶をいただき、中原先生の乾杯のご発声で祝宴に入りました。

近況報告も交えての懇親会は和気藹々のうちにあっという間に2時間を経過しました。途中に当時の状況を振り返るためのスライドも放映され、各自思い思いに40年の歳月を振り返りながら、現況を交えたテーブルスピーチが行なわれました。

最後は時間切れになり、記念撮影ののち閉会となりました。

その後は2次会に移動してさらに懇親は深まり、閉店まで延々と続けられました。

野幌機農高等学校昭和37年卒業同期会告



「機農寮が消えた」

昭和37年卒業、野幌機農高等学校農業科、農経科同期会が10月6日札幌市ジャスマックホテルで開催されました。

卒業時140余名中、出席者は14名でした。懇親会参加者に観てもらおうと学園同窓会事務局にビデオを借りに行ったところ、「機農寮取りこわし」との事、同行幹事、工藤穂君と向かったところ重機が整地していました。

初代馬小屋改築の機農寮に1年生の時、胸をふくらませて入寮し、その年の秋に2代目機農寮に入寮した57年前を思い出し、今は姿のない俺達の機農寮にそしてトンガリ屋根の礼拝堂、食堂よ、ただ ただ絶句・・・ 一棟だけボツンと残っている大志寮よ物置となった農経科の大志寮よ前だけが行く末を見守ってくれと願いつつ跡にしました。

(文責 札幌地区代表幹事 野辺地孝則)

獣医学科第11期生同期会報告



10月15日(土曜日)に獣医学科11期生卒業38周年「熊本震災復旧を応援する佐渡島同期会」が佐渡島で参加者25名で行なわれた。

14日(金)の前夜祭には20名が参加し、翌15日(土)には新潟港佐渡汽船乗船所に集合して、新潟港～佐渡両津港と周り、日吉神社～トキの森公園～史跡佐渡金山～大佐渡スカイラインを見学し、宿泊は「両津やまきホテル」となった。翌日16日(日)には両津港～新潟港を経ての解散となった。

皆、定年を迎える年に成り第2の人生をしっかりと歩んでいます。15日夜は竹花学長から大学の現状について、深いお話がありました。それぞれ自己紹介を学生記番号順に紹介(みな学生番号は完璧に覚えています)。

学長を輩出した11期は元気いっぱい学長を支えることを誓い、全国から集まり、それぞれ現実に戻って行きました。

来年は福岡開催、再来年は40周年で本学近郊での開催が決まりました。(文責 高橋俊彦)

獣医学科第1期生同期会報告



平成28年10月29日(土)札幌市 ホテルKKR札幌で全国から15名の同期生が集まり、旧交を温めつつ楽しい一夜を過ごしました。

久しぶり参加した同窓生曰く「皆に有ったら一瞬で学生時代に戻った」と楽しそうに語っていたのが印象に残りました。

我々も、70才を過ぎ、一日一日を大切に生きて行く年代になりました。楽しい思い出作事が出来る同窓会を大切に、一回でも多く開催できる事を念じています。

来年は、岩手県で開催する事を約束し別れました。

2016.10.30 (文責 獣医学科一期生 木村周一)

〒069-8501

北海道江別市文京台緑町582

酪農学園同窓会

電話 011(386)1196

FAX 011(386)5987

Email: rg-dosok@rakuno.ac.jp.



同窓会は卒業生を応援します



○熊本・大分地震義援募金結果について

熊本・大分地震で被災した酪農学園同窓会会員へのお見舞いの目的で7月1日～8月31日の期間に実施した募金総額は765,984円でした。
ご協力いただいた全国の同窓生に紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。
なお、義援募金は11月13日の熊本県支部総会においてお見舞金としてお渡しされました。

初めに、第1回実行委員長だった菅木佑始さん（淀川中央動物病院院長（大阪府））の挨拶・白樺祭の歴史紹介・乾杯に始まり、現委員会顧問教員の栃原孝志（食と健康学類）による近年の白樺祭の現状報告、参加された皆さんのスピーチ（事前予告なしでしたが皆さん協力ありがとう）、さらにビンゴ大会（遠方から来られた方が持ち寄られた各地の名産などを賞品として提供頂きました）、



今年度委員長（栗本君）の2016年度の報告、次年度委員長（中村君）の来年への決意表明を経て、あっという間に予定の時間となり、最後にてんちゃんの涙が止まらない感動的な話、そして元・学生部の林さんの乾杯、集合写真撮影でお開きとなりました。

その後、2次会、3次会、4次・・・と続いていきました。

次回は5年後にしたいとの意見で一致しましたので、とりあえずこの場を借りて記録に残しておきます。

酪農学園同窓会の皆様、多額の助成金を賜りまして厚くお礼を申し上げます。（文責・栃原 孝志）



今後の主なスケジュール（HP参照）

11月

- 17日（木）第52回酪農公開講座（松本市）
- 17日（木）長野支部同窓会（酪農公開講座時）（松本）
- 18日（金）酪農学園大学公開講座（東京）
- 18日（金）公開講座
- 19日（土）北海道第3（道南）地区会（八雲）
- 20日（日）関東甲信越高校合同同窓会（東京）
- 26日（土）北海道第4地区宗谷支部総会（枝幸）
- 27日（日）中国地区島根県支部設立準備会（出雲）
- 27日（日）中国地区鳥取県支部総会（倉吉）

12月

- 17日（土）四国地区香川県支部総会（高松）
- 17日（土）北海道第二地区日高第二支部総会（静内）

1月

- 11日（水）緑風会総会・懇親会
- 21日（土）道東地区十勝支部総会

あ と が き

11月初旬に大雪が降り、交通マヒとなり、各種OB会等にも多少影響があったとお聞きしています。

昨年は記録的な少雪でしたが、今年は大雪の予感がします。

2016年も残すところ1ヶ月となりました。前号でもお伝えしましたが、学園役員も大幅に変更になりました。

同窓会から評議員互選の理事として小山久一会長が学園理事に就任しております。

同窓会も全国的な地区支部のネットワークが出来上がるといういろいろな形での母校支援が可能になると考えております。

また、同窓生同士の同期会、クラブOB会、ゼミ・研究室OB会等さまざまな同窓会開催が活発に行なわれることを期待しています。

組織化が進み、財政的にも安定してくると、内実が問われてきますので皆様のご意見を拝聴しながら、事業計画の策定に望みたいと考えております。

沖縄県支部から宗谷支部までを網羅したユニークな同窓会活動の展開を皆様の英知を結集して進めたいと思いますのでご協力をお願い申し上げます。